

第53期 決算公告

2020年3月6日

東京都港区芝公園一丁目2番9号
エヌエス環境株式会社
代表取締役 須磨 重孝

貸借対照表

(2019年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,463,958	流動負債	740,890
現金及び預金	1,248,015	業務未払金	146,120
受取手形	54,015	リース債務	61,189
完成業務未収入金	2,044,323	未払金	54,975
未成業務支出金	102,127	未払費用	149,228
貯蔵品	8,407	未払法人税等	137,818
前払費用	4,737	未払消費税等	60,075
その他	2,361	未成業務受入金	12,457
貸倒引当金	△30	預り金	93,463
固定資産	1,841,928	賞与引当金	21,989
有形固定資産	1,663,619	その他	3,573
建物	679,932	固定負債	260,970
構築物	13,328	リース債務	111,435
機械及び装置	6,378	長期未払金	62,211
車両運搬具	2,257	退職給付引当金	87,324
工具、器具及び備品	53,731		
土地	736,736		
リース資産	171,253	負債合計	1,001,861
無形固定資産	17,096	(純資産の部)	
電話加入権	7,433	株主資本	4,298,230
施設利用権	1,176	資本金	396,200
ソフトウェア	8,486	資本剰余金	350,105
投資その他の資産	161,213	資本準備金	350,105
投資有価証券	38,770	利益剰余金	3,551,925
出資金	1,078	利益準備金	37,893
長期貸付金	281	その他利益剰余金	3,514,032
破産更生債権等	389,981	別途積立金	3,053,000
長期前払費用	394	繰越利益剰余金	461,032
差入保証金	43,810	評価・換算差額等	5,795
繰延税金資産	76,877	その他有価証券評価差額金	5,795
貸倒引当金	△389,981		
		純資産合計	4,304,025
資産合計	5,305,887	負債純資産合計	5,305,887

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

1) その他有価証券

- ・時価（市場価格）のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。
- ・時価（市場価格）のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。

2) たな卸資産

- ・未成業務支出金 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。
- ・貯蔵品 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産

（リース資産を除く）

定率法（ただし、建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2～52年
機械及び装置	5～8年
工具、器具及び備品	2～20年

2) 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年9月30日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(4) 収益及び費用の計上基準

完成業務高及び完成業務原価の計上基準

- 1) 当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる業務
進行基準（業務の進捗率の見積りは原価比例法）
- 2) その他の業務
完了基準

- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

- (1) 担保に供している資産及び担保に係る債務
1) 担保に供している資産
該当事項はありません。
2) 担保に係る債務
該当事項はありません。
- (2) 有形固定資産の減価償却累計額 2,226,278千円
- (3) 期末日満期手形の会計処理
期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
- (4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務（区分表示したものを除く）
短期金銭債権 18,306千円
短期金銭債務 3,892千円

3. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の 名称	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合
親会社	応用地質株式会社	東京都千代田区	16,174,600	地質調査等建設 コンサルタン ト 計測機器の製造販売	被所有割合 直接100.0%

関連当事者との関係		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の 兼任等	事業上の関係				
兼任2名	環境関連業務 の請負	業務の請負	206,148	業務未収入金	18,045
		クライアントサービス利用料等	4,106	未成業務受入金	363
		家賃の支払	19,075	未払金	122

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- ① 環境関連業務の請負については、個別に見積書を提出し価格交渉の上、決定しております。
- ② 事務所の賃貸については、近隣の取引実勢に基づいて決定しております。
- ③ 資金の借入時の利率については、市場金利を勘案して決定されております。

4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	1,106円15銭
(2) 1株当たり当期純利益	112円76銭

5. 重要な後発事象に関する注記

特記すべき事項はありません。

6. その他の注記

記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

7. 当期純利益金額

当期純利益 438,762千円